

国立国語研究所学術情報リポジトリ

# 日本語教育映画：基礎編 れんしゅうちょう ユニ ット6(第26巻～第30巻)

著者	国立国語研究所
ページ	1-40
発行年	1984-11-15
シリーズ	日本語教育映画；基礎編 関連教材
URL	<a href="http://doi.org/10.15084/00003122">http://doi.org/10.15084/00003122</a>

16mmフィルム  
ビデオテープ

日本語教育映画 基礎編

# れんしゅうちょう

ユニット6 (第26巻～第30巻)

国立国語研究所

## 前 書 き

この「日本語教育映画 基礎編 練習帳」は、「日本語教育映画 基礎編」を使用する学習者のための補助教材として作成しました。

「日本語教育映画 基礎編」は、日本語を母語としない学習者が日本語を学ぶための初級用映像教材で、1巻5分から8分の作品30巻で構成されています。各巻、独立した学習内容と主題を持っているので、日本語の授業で教科書と併用する副教材として個別的に利用することもできますが、また基礎的な日本語能力を実践的に身につけるための教材として、系列的に順次利用することも可能です。

この練習帳は、映画各巻の学習内容とストーリーに即して練習を展開させ、ユニット（映画5巻分）単位でまとめました。日本語教育映画とあわせて御利用ください。

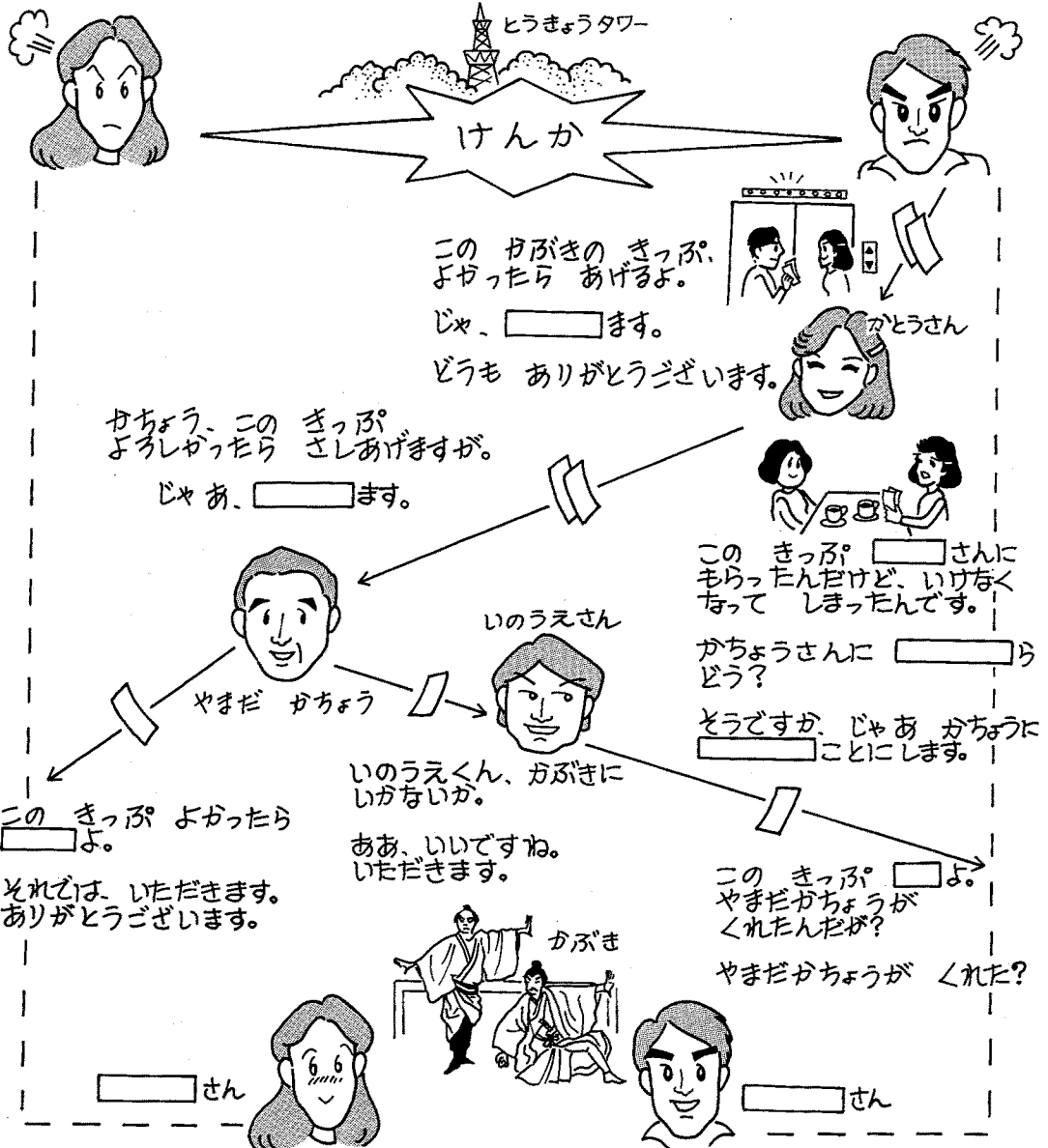
### 『日本語教育映画 基礎編』 練習帳

#### ユニット(6)目次

第26巻	このきっぷを あげます……………	1
第27巻	にもつを もって もらいました……………	9
第28巻	てつだいを させました……………	17
第29巻	よく いらっしゃいました……………	23
第30巻	せんせいを おたずねします……………	31
	動詞の れんしゅう……………	38

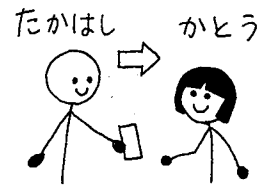
26

# このきっぷをあげます



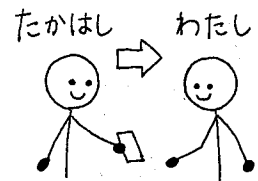
① 「あげる」「もらう」

高橋さんは 加藤さんに きっぷを あげました。  
 → 加藤さんは 高橋さん (に から) きっぷを  
 ※ どちらも 正しいです。



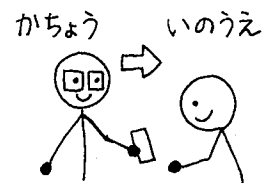
② 「もらう」「くれる」

わたしは 高橋さん (に から) きっぷを もらいました。  
 → 高橋さんは わたしに きっぷを くれました。



③ 「あげる」「いただく」

課長は 井上さんに きっぷを あげました。  
 → 井上さんは 課長 (に から) きっぷを いただきました。



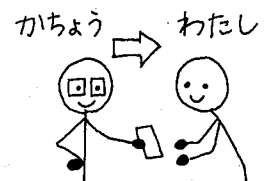
④ 「さしあげる」

加藤さんは 課長に きっぷを さしあげました。  
 → 課長は 加藤さん (に から) きっぷを もらいました。



⑤ 「いただく」「くださる」

わたしは 課長さん (に から) きっぷを いただきました。  
 → 課長さんは わたしに きっぷを くださいました。



⑥ 「やる」

課長は 井上さんに きっぷを あげました。  
 → 課長は 井上さんに きっぷを やりました。  
 加藤さんは 花に 水を やりました。



⑦ 「やり・もらい」(1)

れい：高橋<sup>たかはし</sup>さんは 加藤<sup>かとう</sup>さん(に) きつぷを あげました。

1. 井上<sup>いのうえ</sup>さんは わたし○ きつてを くれました。
2. わたしは 山田<sup>やまだ</sup>さん○ たばこを もらいました。
3. 課長<sup>かちょう</sup>は わたし○ おさけを くださいました。
4. 井上<sup>いのうえ</sup>さんは 課長<sup>かちょう</sup>○ おいおいを さしあげました。
5. わたしは 社長<sup>しゃちょう</sup>○○ おみやげを いただきました。
6. 加藤<sup>かとう</sup>さんは 花<sup>はな</sup>○ 水<sup>みず</sup>を やりました。

⑧ 「やり・もらい」(2)

れい：高橋<sup>たかはし</sup>さんは 加藤<sup>かとう</sup>さんに きつぷを あげました。

→ 加藤<sup>かとう</sup>さんは 高橋<sup>たかはし</sup>さんに きつぷを もらいました。

1. わたしは 高橋<sup>たかはし</sup>さんから 本<sup>ほん</sup>を もらいました。  
→ 高橋<sup>たかはし</sup>さんは
2. 上田<sup>うえだ</sup>さんは 小林<sup>こばやし</sup>先生<sup>せんせい</sup>に 外国<sup>がいこく</sup>のたばこを さしあげました。  
→ 小林<sup>こばやし</sup>先生<sup>せんせい</sup>は
3. 加藤<sup>かとう</sup>さんは 田中<sup>たなか</sup>さんに 本<sup>ほん</sup>を もらいました。  
→ 田中<sup>たなか</sup>さんは
4. 山田<sup>やまだ</sup>さんのお父<sup>とう</sup>さんは 弟<sup>おとうと</sup>に きつてを くださいました。  
→ 弟<sup>おとうと</sup>は
5. 社長<sup>しゃちょう</sup>は 課長<sup>かちょう</sup>に おみやげを あげました。  
→ 課長<sup>かちょう</sup>は
6. あなたは 井上<sup>いのうえ</sup>さんから おいおいを もらいましたか。  
→ 井上<sup>いのうえ</sup>さんは

⑨ 「やり・もらい」(3)

れい：高橋<sup>たかはし</sup>さんは 加藤<sup>かとう</sup>さんに きつぷを あげました。

→ 加藤<sup>かとう</sup>さんは 高橋<sup>たかはし</sup>さんから きつぷを もらいました。

1. わたしは 井上<sup>いのうえ</sup>さんに おみやげを もらいました。

→ 井上<sup>いのうえ</sup>さんは

2. 課長<sup>かちょう</sup>は 井上<sup>いのうえ</sup>さんに おかねを あげました。

→ 井上<sup>いのうえ</sup>さんは

3. 課長<sup>かちょう</sup>は わたしに バッグを くださいました。

→ わたしは

4. 兄<sup>あに</sup>は 弟<sup>おとうと</sup>に とけいを やりました。

→ 弟<sup>おとうと</sup>は

5. あなたは だれから きつぷを もらいましたか？

→ だれが

⑩ 「やり・もらい」(4)

れい：(高橋<sup>たかはし</sup>さん ⇨ 加藤<sup>かとう</sup>さん)

→ 高橋<sup>たかはし</sup>さんは 加藤<sup>かとう</sup>さんに きつぷを あげました。

1. (井上<sup>いのうえ</sup>さん ⇨ 課長<sup>かちょう</sup>) → 井上<sup>いのうえ</sup>さんは

2. (井上<sup>いのうえ</sup>さん ⇨ わたし) → 井上<sup>いのうえ</sup>さんは

3. (課長<sup>かちょう</sup> ⇨ わたし) → 課長<sup>かちょう</sup>は

4. (山下<sup>やました</sup>さん ⇨ あなた) → 山下<sup>やました</sup>さんは

5. (加藤<sup>かとう</sup>さん ⇨ わたし) → 加藤<sup>かとう</sup>さんは

6. (高橋<sup>たかはし</sup>さん ⇨ 井上<sup>いのうえ</sup>さん) → 高橋<sup>たかはし</sup>さんは

7. (わたし ⇨ 加藤<sup>かとう</sup>さん) → わたしは

8. (山下<sup>やました</sup>さん ⇨ 課長<sup>かちょう</sup>) → 山下<sup>やました</sup>さんは



- ⑪ 下の   の 中から てきとうな 言葉を えらび、 に 形を かえて 書きなさい。

さしあげる、あげる、やる、もらう  
いただく、くれる、くださる

⑫ れい：山田さんは 京都で かった おみやげを 小林さんに あげました。

1. これは わたしが 自分で 作った ケーキですが、先生に  たいと思います。
2. この 時計は 去年の たんじょう日に 父が  ものです。
3. これは 母から  ネクタイです。
4. 田中先生から お手紙を  ことが あります。
5. 毎朝 花に 水を  ことに しています。
6. どなたが この 写真を  のですか。
7. あなたは どれが いいですか。好きなのを  ましょう。
8. はる子さん、その きれいな 花は だれから  のですか。
9. 大学に 入ったら、兄が じしよを  そうです。
10. 林さんの お父さんから めずらしい 切手を  。
11. 京子さん、もう 犬に 水を  か。
12. あしたは わたしの たんじょう日です。  
母が なにか  でしょう。
13. よしおさんが 入院しているので、おみまいに 花を  と 思います。



⑫ 「やり・もらい」

れい<sup>いのうえ</sup>：井上：この きっぷ、課長<sup>かちょう</sup>にもらったよ。

加藤<sup>かどう</sup>：この きっぷは、わたしが 課長<sup>かちょう</sup>に あげたのよ。

→ 課長<sup>かちょう</sup>は 加藤<sup>かどう</sup>さんから もらった きっぷを、井上<sup>いのうえ</sup>さんに あげました。

1. わたし：井上<sup>いのうえ</sup>さんが レコードを くれたよ。

加藤<sup>かどう</sup>：あら その レコードは 木村<sup>きむら</sup>さんが 井上<sup>いのうえ</sup>さんに あげたのよ。

→ 井上<sup>いのうえ</sup>さんは

2. 母<sup>はは</sup>：去年<sup>きょねん</sup> あなたに あげた スカーフは どうしたの。

わたし：あれは 友だち<sup>とも</sup>に あげたわ。

→ わたしは

3. 課長<sup>かちょう</sup>：井上<sup>いのうえ</sup>君<sup>くん</sup>の たんじょう日<sup>び</sup>には この ライターを あげよう。

井上<sup>いのうえ</sup>：先月<sup>せんげつ</sup> 社長<sup>しゃちょう</sup>から いただいた ライターですか。

→ 井上<sup>いのうえ</sup>さんは

4. 井上<sup>いのうえ</sup>：これは 父<sup>ちち</sup>が くれた くすりです。よく ききますよ。

課長<sup>かちょう</sup>：どうも ありがとう。のんで みます。

→ 井上<sup>いのうえ</sup>さんは

5. 子ども：あっ！ 水<sup>みず</sup>を やらなかった。

母<sup>はは</sup>：あれは 先生<sup>せんせい</sup>が くださった 花<sup>はな</sup>でしょう。だめだね、ほんとうに。

→ 子どもは

6. 姉<sup>あね</sup>：おじさんが 本<sup>ほん</sup>を くれたの？

弟<sup>おとうと</sup>：むかし おかあさんが 同じ 本<sup>ほん</sup>を おじさんに あげた そうだよ。

→ おじさんは

13 会話の 練習を しましょう。

1. A: おや、いい ネクタイですね。

どこで 買ったんですか。

B: いえ、これは もらった ものです。

A: そうですか。

B: 去年の たんじょう日に 姉が くれたんです。

1. スカーフ、母

2. ペン、先生

3. ハンカチ、弟

4. さいふ、友だちのお母さん

2. 井上: この きっぷ、よかったら あげます。

高橋: えっ、もらって いいんですか。

井上: 実は、課長から いただいたんだけど、いけなくなって しまったんです。

高橋: どうもありがとう。

1. 課長、高橋、井上

2. 姉、弟、友だち

3. 先生、校長先生、学生

4. 父、課長、子ども

14 ビデオテープを <sup>き</sup>聞いて  の <sup>なか</sup>中を <sup>か</sup>書きなさい。

加 藤：あつ。

この きっぷ、<sup>たかはし</sup>高橋さんに 、行けなく  
なって しまったんです。

田 中：<sup>たかはし</sup>高橋さんが ？

あ、きょうのね。

加 藤：ええ。

、いないでしょうか。

田 中：そうね。あつ、そうだ。

<sup>かちよう</sup>課長さんに 、どう。

<sup>かぶき</sup>歌舞伎が とても <sup>す</sup>好きだ そうよ。

B : おさきに 。

A : 。

課 長：<sup>ちよう</sup>うん。

加 藤：あらー？

<sup>かちよう</sup>課長、<sup>かぶき</sup>歌舞伎には？

課 長：あー、、<sup>しごと</sup>仕事が できて しまって……。

加 藤：そうですか。

課 長：それで、<sup>よしだ</sup>吉田さんに きっぷ 。

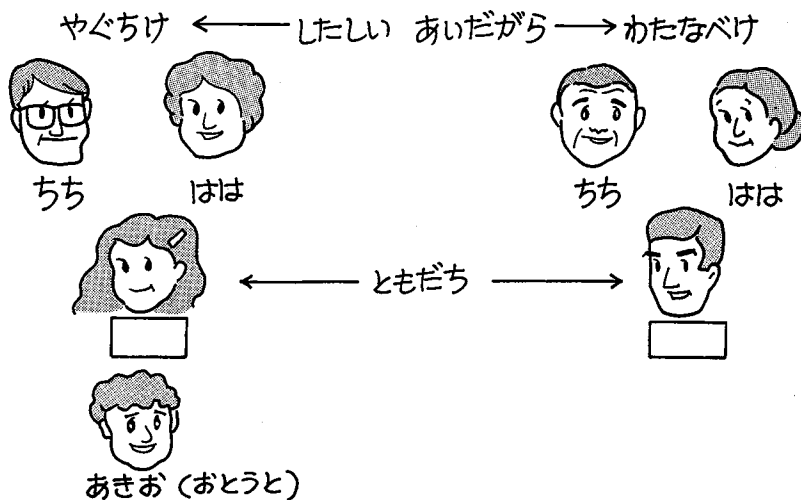
<sup>いのうえくん</sup>井上君は あの きっぷ どう した？

井 上：ああ、<sup>かちよう</sup>課長に  きっぷは、<sup>たかはしくん</sup>高橋君に 。

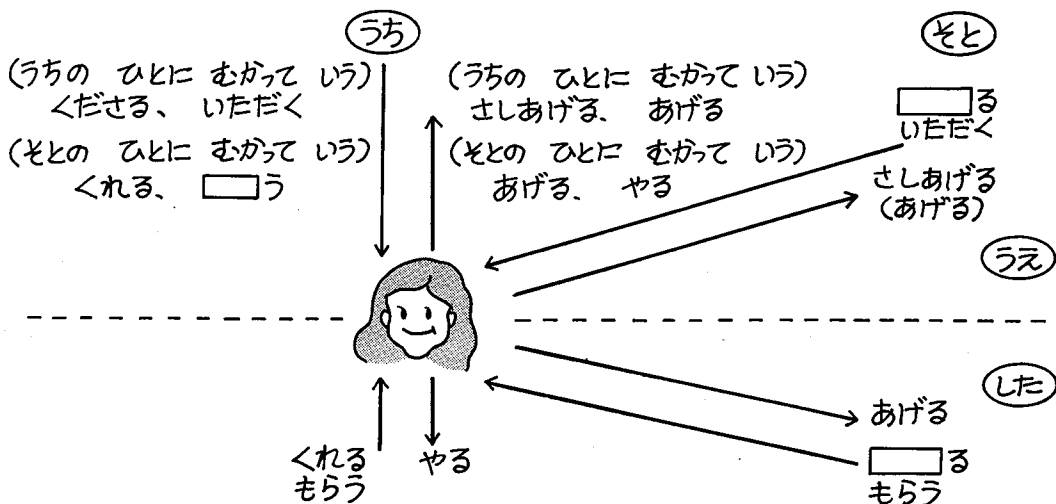


# にもつを もって もらいました

[A] 27かんにててくるひととそのかんけい

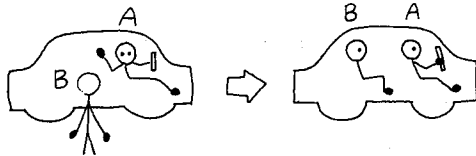


[B] 「あげる」「もらう」「くれる」のつかいかた



①

1. れい: おとうさんは まさおさんを くるまで おくる。

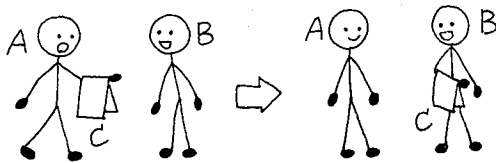


1. まさおさんは おとうさんに くるまで おくって もらう。

2. おとうさんは まさおさんを くるまで おくって あげる。

3. おとうさんは わたしを くるまで おくって くれる。

2. れい: あきおくんは まさおさんに てぬぐいを もって くる。

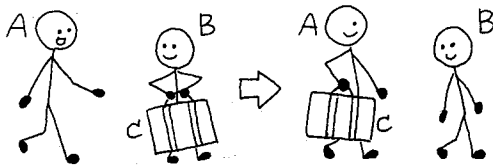


1. まさおさんは あきおくんに てぬぐいを もって きて もらう。

2. あきおくんは まさおさんに てぬぐいを もって きて あげる。

3. あきおくんは わたしに てぬぐいを もって きて くれる。

3. れい: まさおさんは けいこさんの にもつを もつ。



1. けいこさんは まさおさんに にもつを もって もらう。

2. まさおさんは けいこさんの にもつを もって あげる。

3. まさおさんは わたしの にもつを もって くれる。

② \_\_\_\_\_ に やり・もらい表現の 適切な 言葉を 入れて、文を 完成しなさい。

A 正男が 恵子の ために 恵子の 荷物を持つ。

1. 正男「恵子さん、その にもつを もって \_\_\_\_\_ か。」
2. 正男が 恵子の にもつを もって \_\_\_\_\_。
3. 恵子は 正男に にもつを もって \_\_\_\_\_。
4. 恵子「正男さんが にもつを もって \_\_\_\_\_。」

B 恵子の 父が 正男を 車で 送る。

1. 正男は 恵子の 父に 車で 送って \_\_\_\_\_。
2. 恵子の 父は 正男を 車で 送って \_\_\_\_\_。
3. 正男「恵子さんの お父さんが 車で 送って \_\_\_\_\_。」
4. 正男（恵子の 父に 向かって）「車で 送って \_\_\_\_\_、  
ありがとう ございました。」

C 正男が 恵子の うちの もちつきを 手伝う。

1. 恵子の父「正男君、あした もちつきを 手伝って \_\_\_\_\_  
かい。」
2. 正男は 恵子の うちの もちつきを 手伝って \_\_\_\_\_。
3. 恵子の母「正男さんが 手伝って \_\_\_\_\_、助かったわ。」
4. 恵子の母「正男さんに 手伝って \_\_\_\_\_、助かったわ。」

D 恵子<sup>けいこ</sup>が 正男<sup>まさお</sup>と 明夫<sup>あきお</sup>の ために 手ぬぐい<sup>てぬぐい</sup>を 持って<sup>も</sup> くる。

1. 恵子<sup>けいこ</sup>の父<sup>ちち</sup>「恵子<sup>けいこ</sup>、正男<sup>まさお</sup>君<sup>くん</sup>に 手ぬぐい<sup>てぬぐい</sup>を 持って<sup>も</sup> きて \_\_\_\_\_。」
2. 恵子<sup>けいこ</sup>の父<sup>ちち</sup>「恵子<sup>けいこ</sup>、明夫<sup>あきお</sup>にも 手ぬぐい<sup>てぬぐい</sup>を 持って<sup>も</sup> きて \_\_\_\_\_。」
3. わたし(恵子<sup>けいこ</sup>)は 正男<sup>まさお</sup>さんに 手ぬぐい<sup>てぬぐい</sup>を 持って<sup>も</sup> きて \_\_\_\_\_。
4. わたし(恵子<sup>けいこ</sup>)は 明夫<sup>あきお</sup>に 手ぬぐい<sup>てぬぐい</sup>を 持って<sup>も</sup> きて \_\_\_\_\_。
5. 正男<sup>まさお</sup>「恵子<sup>けいこ</sup>さんが 手ぬぐい<sup>てぬぐい</sup>を 持って<sup>も</sup> きて \_\_\_\_\_。」
6. 明夫<sup>あきお</sup>「姉<sup>あね</sup>に 手ぬぐい<sup>てぬぐい</sup>を 持って<sup>も</sup> きて \_\_\_\_\_。」

E 恵子<sup>けいこ</sup>の 母<sup>はは</sup>は 恵子<sup>けいこ</sup>に 代わ<sup>か</sup>って もちつき<sup>もちつき</sup>を 続<sup>つづ</sup>ける。

1. 恵子<sup>けいこ</sup>の 母<sup>はは</sup>「恵子<sup>けいこ</sup>、代わ<sup>か</sup>って \_\_\_\_\_。」
2. 恵子<sup>けいこ</sup>「お母<sup>かあ</sup>さん、代わ<sup>か</sup>って \_\_\_\_\_。」
3. 恵子<sup>けいこ</sup>さんは お母<sup>かあ</sup>さんに 代わ<sup>か</sup>って \_\_\_\_\_。
4. 恵子<sup>けいこ</sup>「母<sup>はは</sup>に 代わ<sup>か</sup>って \_\_\_\_\_。」

F 正夫<sup>まさお</sup>が 正夫<sup>まさお</sup>の 父<sup>ちち</sup>を 手伝<sup>てつだ</sup>って 雪<sup>ゆき</sup>がこい<sup>こい</sup>を する。

1. 正夫<sup>まさお</sup>の 母<sup>はは</sup>「正夫<sup>まさお</sup>、お父<sup>とう</sup>さんの お手伝<sup>てつだ</sup>い<sup>い</sup>を して \_\_\_\_\_。」
2. 正夫<sup>まさお</sup>の 父<sup>ちち</sup>「正夫<sup>まさお</sup>、そこ<sup>そこ</sup>に ある ひも<sup>ひも</sup>を とって \_\_\_\_\_。」
3. 正夫<sup>まさお</sup>の 父<sup>ちち</sup>「正夫<sup>まさお</sup>に 手伝<sup>てつだ</sup>って \_\_\_\_\_ ので、  
早く<sup>はや</sup> 終<sup>お</sup>わったよ。」
4. 正夫<sup>まさお</sup>の 父<sup>ちち</sup>「正夫<sup>まさお</sup>が 手伝<sup>てつだ</sup>って \_\_\_\_\_ ので、  
早く<sup>はや</sup> 終<sup>お</sup>わったよ。」



③ ○に「は」か「に」か「を」を入れなさい。

1. 父○ 正男さん○ 手ぬぐい○ 持って くるように  
恵子○ 言いました。
2. 恵子○ 正男君○ にもつ○ 持って もらいました。
3. 正男君○ うちの もちつきの 手伝い○ して くれました。
4. 父○ 正男さん○ 車で 送って あげました。
5. 正男○ 恵子さんの お父さん○ 車で 送って いただきました。
6. 恵子○ 明夫○ 手ぬぐい○ 持って きて やりました。
7. 正男○ 手伝って もらったので 助かったよと 父○ 言いました。
8. 母○ 父と わたし○ お茶○ 入れて くれました。

④ 次の 文を 言いかえなさい。

1. 恵子は 明夫 手ぬぐいを 持って きて やりました。  
→ 明夫は 恵子に \_\_\_\_\_。
2. (わたしは あなたに 車で) 送って いただいて  
ありがとう ございました。  
→ (あなたが わたしを 車で) \_\_\_\_\_。  
ありがとう ございました。
3. わたしは 父に むかえに 来て もらいます。  
→ 父が わたしを \_\_\_\_\_。
4. 正男は 正男の 母に お茶を 入れて もらいます。  
→ 正男の 母は 正男に \_\_\_\_\_。
5. 正男は 恵子の にもつを 持って あげました。  
→ 恵子の 父「正男君、 恵子の にもつを \_\_\_\_\_。  
ありがとう。」

⑤ AとBとどちらが正しいですか。正しいほうに○をつけなさい。

1. ことばの 意味や 使いかたが わからない ときには、先生に 教えて

{ A. いただきます。

{ B. くださいます。

2. わたしの 時計は 父が 買って { A. あげた }  
{ B. くれた } ものです。

3. 「駅へ 行く 道が わからないのですが。」

「そうですか。それでは わたしが いっしょに 行って

{ A. もらいましょう。}

{ B. あげましょう。}

4. 子どもたちの パーティーに 出席して { A. やりたい }  
{ B. もらいたい }

のですが、わたしは いそがしくて 行かれないので、代わりに

出席して { A. もらいませんか。

{ B. くださいませんか。

5. わたしが 病院に 入院して いたとき、かんごふさんは しんせつに

せわを して { A. あげました。

{ B. くれました。

6. わたしが 母に あんで { A. くれた }  
{ B. もらった } セーターを、かわいそうな

友だちに 送って { A. もらいました。

{ B. あげました。

7. 子どもの ころ 父に 数学を 教えて { A. もらったり }  
{ B. くれたり }、

弟に 英語を 教えて { A. くれたり }  
{ B. やったり }、しました。

8. 姉の たんじょう日に わたしは ケーキを 作って { A. あげました。  
{ B. くれました。

先生は きれいな 花を 持って 来て { A. くださいました。

{ B. いただきました。

- ⑥ ビデオテープを 聞いて  の <sup>なか</sup>中に てきとうな <sup>ことば</sup>言葉を 入れなさい。

恵子の父： 正男君も この 列車だったのか。

正男： ええ、お久しぶりです。

恵子の父： しばらくだね。

恵子： そこで 会って、にもつを  の。

恵子の父： それは どうも。

正男： 、ありがとう ございました。

恵子の父： いやいや。

あした 9時に  ね。

正男： はい。

正男： あー、あつい。

恵子の父： 恵子、正男君に てぬぐいを  なさい。

恵子： はい。

恵子の父： あっ、明夫にも  なさい。

恵子の母： 正男さんが  ので、助かったわ。

正男： いいえ。

恵子の母： 恵子、 わ。

恵子： そう。じゃあ。

⑦ ビデオ・テープを <sup>み</sup>見て、つぎの <sup>こた</sup>しつもん に 答えなさい。

A <sup>まさお</sup>正男さんは だれに どんなことを して あげましたか。

1. <sup>けいこ</sup>恵子さんに
2. <sup>けいこ</sup>恵子さんの <sup>うち</sup>の <sup>ひと</sup>人に
3. <sup>まさお</sup>正男さんの <sup>かあ</sup>お母さんに
4. <sup>まさお</sup>正男さんの <sup>とう</sup>お父さんに

B <sup>まさお</sup>正男さんは だれに どんなことを して もらいましたか。

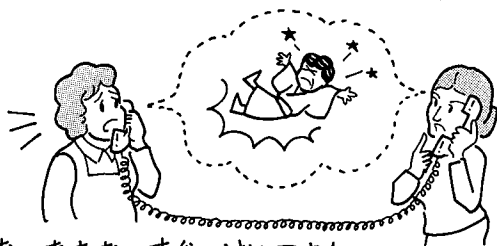
1. <sup>けいこ</sup>恵子さんの <sup>とう</sup>お父さんに
2. <sup>まさお</sup>正男さんの <sup>かあ</sup>お母さんに
3. <sup>けいこ</sup>恵子さんに
4. <sup>けいこ</sup>恵子さんの <sup>とう</sup>お父さんに

C <sup>けいこ</sup>恵子さんの <sup>とう</sup>お父さんは だれに どんなことを して くれと たのみま  
したか。

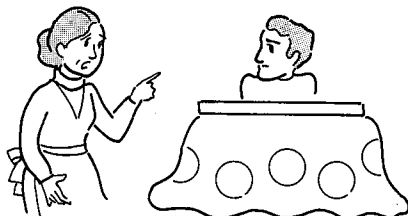
1. <sup>まさお</sup>正男さんに
2. <sup>まさお</sup>正男さんに
3. <sup>けいこ</sup>恵子さんに

D <sup>けいこ</sup>恵子さんの <sup>とう</sup>お父さんは だれに どんなことを して あげましたか。

1. <sup>けいこ</sup>恵子さんを
2. <sup>けいこ</sup>恵子さんの <sup>にもつ</sup>に
3. <sup>まさお</sup>正男さんを



「まさお まさお。すぐ けい二さんの  
うちへ くるまで いって ちょうだい。」



まさおさんの おやあさんは まさおさんを  
けい二さんの うちへ ました。



「けい二は リョウリを してくれ。  
あきおは げんがんの そうじを  
しなさい。」



おとうさんは けい二さんに リョウリを  
ました。  
おとうさんは あきおくんに げんがんの  
そうじを ました。



「げんがんの そうじ おわったよ。」  
「じゃあ つぎは 風呂の そうじを  
してくれ。」

おとうさんは あきおくんに 風呂の  
そうじを ました。



「あきお、この ふたを あけて。」



けい二さんは あきおくんに びんの  
ふたを あけ ました。

「そうだ、みんなぞ シャしんを  
とりましょう。  
「じゃあ、あきお〇 よう。  
「うん、いいよ」

「二んじは ぼくが とりましょうか。」  
「じゃあ、まさおくん〇 として ました。」



おとうさんは あきおくん〇  
シャしんを ました。



おとうさんは まさおさん〇  
シャしんを として ました。

①

	基本の形 <small>きほん かな</small>	使役の形 <small>しえき かな</small>	受身の形 <small>うけみ かな</small>	使役受身の形 <small>しえきうけみ かな</small>
五段動詞 <small>ごだんだうし</small>	書 く お よ ぐ 話 す 持 つ 死 ぬ 遊 ぶ 読 む と る 買 う	書 かせ る ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) 買 わ せる	書 か れ る ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	書 かせ ら れ る ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )
一段動詞 <small>いちだんだうし</small>	と じ る 食 べ る	と じ さ せ る ( )	と じ ら れ る ( )	と じ さ せ ら れ る ( )
不規則動詞 <small>ふきぎせくだうし</small>	す る 来 る	さ せ る 来 さ せ る	さ れ る こ ら れ る	さ せ ら れ る こ さ せ ら れ る

② 次の 文を 例の ように 使役の 文に 言いかえなさい。

れい：先生は 学生に 「宿題を やりなさい。」と 言いました。

→ 先生は 学生に 宿題を やらせました。

1. 先生は 学生に 「本を 読みなさい。」と 言いました。

→

2. 先生は 学生に 「もう一度 言いなさい。」と 言いました。

→

3. 先生は 学生に 「作文を 書きなさい。」と 言いました。

→

4. 先生は 学生に 「テープを 聞きなさい。」と 言いました。

→

5. 先生は 学生に 「宿題を 出しなさい。」と 言いました。

→

6. 先生は 学生に 「質問に 答えなさい。」と 言いました。

→

7. 先生は 学生に 「本を とじなさい。」と 言いました。

→

8. 先生は 学生に 「書き取りを しなさい。」と 言いました。

→

9. 父は 明夫に 「写真を 写しなさい。」と 言いました。

→

10. 医者は わたしに 「薬を 飲みなさい。」と 言いました。

→



③ 例の ように 次の 文を 使役と 使役受身の 文に 言いかえなさい。

れい：わたしは 立ちました。(先生)

→ 先生は わたしを 立たせました。

→ わたしは 先生に 立たせられ(立たされ)ました。

1. 恵子は 買物に 行きました。(母)

→

→

2. みんなは 心配しました。(おばあさん)

→

→

3. 弟は 泣きました。(兄)

→

→

4. 恵子は 待ちました。(正男)

→

→

5. 子どもは うちの 中で 遊びました。(お母さん)

→

→

6. 子どもは はやく 寝ました。(お父さん)

→

→

④ \_\_\_\_\_ に ( ) の動詞を 使役の かたちに して 入れなさい。

もうすぐ 新年が 来ます。新年を 迎えるために いろいろな ことを し  
なければ なりません。家の 中を きれいに そうじしなければ ならないし  
新年の ごちそうも 作らなければ なりません。たいへん いそがしいです。  
父と 母は わたしたちに いろいろな ことを \_\_\_\_\_ ます。

(1. 手伝う)

たとえば 父は 兄を いっしょに 買物に \_\_\_\_\_ て、必要な

(2. 行く)

ものを \_\_\_\_\_ ます。父は 兄に 買った ものを \_\_\_\_\_ たり

(3. 買う)

(4. 持つ)

車の 運転を \_\_\_\_\_ たり します。母は わたしに 部屋を \_\_\_\_\_

(5. する)

\_\_\_\_\_ たり ガラスなどを \_\_\_\_\_ たり します。母は 姉に

(6. はく)

(7. みがく)

料理の 材料を \_\_\_\_\_ たり \_\_\_\_\_ たり \_\_\_\_\_

(8. あらう)

(9. 切る)

(10. ゆでる)

\_\_\_\_\_ たり して、料理を \_\_\_\_\_ ます。妹には 花を \_\_\_\_\_

(11. つくる)

(12.

\_\_\_\_\_ ます。新年の はじめの 日には、両親は わたしたちに 新しい ふ  
かざる)

くを \_\_\_\_\_ 。

(13. 着る)

父は その日 お酒を 飲みますが、わたしたちには \_\_\_\_\_ ません。

(14. 飲む)

⑤ ビデオ・テープを 見て 次の 問いに 答えなさい。

1. 恵子の 両親は 明夫には どんな ことを させましたか。

1)

2)

3)

2. 恵子には どんな ことを させましたか。

1)

2)

3. 正男には どんな ことを して もらいましたか。

1)

2)

4. みんなは おばあさんに どんな ことを させられましたか。

1)

5. あなたは お父さんや お母さんに どんな ことを させられますか。

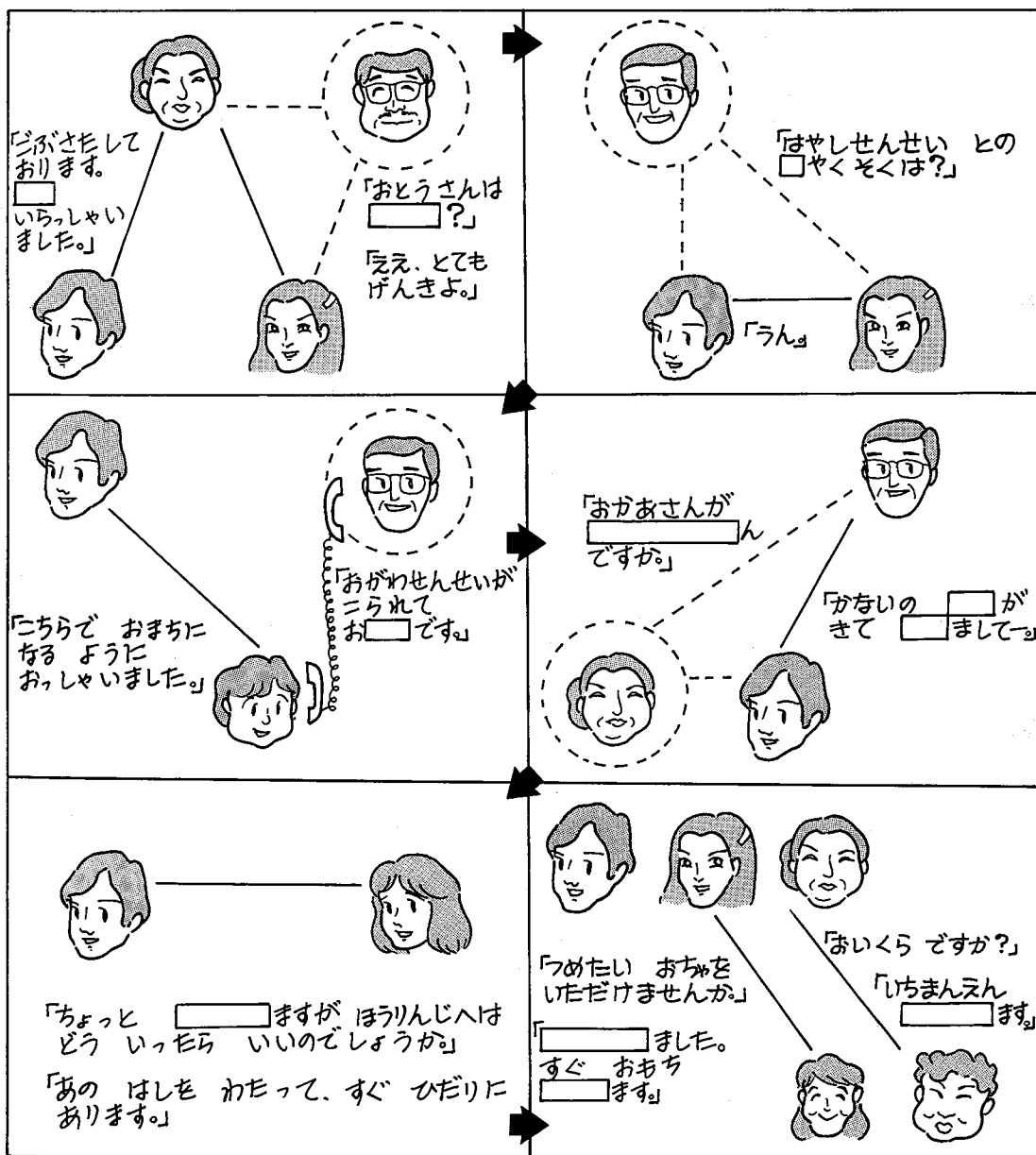
6. あなたは お父さんや お母さんに どんな ことを して もらいますか。

7. 先生は 学生に どんな ことを させますか。

8. あなたは 先生に どんな ことを して もらいますか。

29

よく いらっしやいました



① そんなの いいかた

1. 「お～になる」

林<sup>はやし</sup>先生<sup>せんせい</sup>が かえります。→ 林<sup>はやし</sup>先生<sup>せんせい</sup>が おかえりに なります。

2. 「～れる／られる」

小川<sup>おがわ</sup>先生<sup>せんせい</sup>が きます。→ 小川<sup>おがわ</sup>先生<sup>せんせい</sup>が こられます。

3. その他の きまった かたち

「いる」「いく」「くる」→「いらっしゃる」

「する」→「なさる」

「たべる」→「めしあがる」

② けんさんの いいかた

1. 「お～する」

かばんを もちます。→ かばんを おもちします。

2. その他の きまった かたち

「もらう」・「たべる」→「いただく」

「する」→「いたす」

※「～ている」→「～ておる」（ていねいな いいかた）

③ 相手<sup>あいて</sup>(側<sup>がわ</sup>)の かぞくの よびかた

父<sup>ちち</sup> → お父<sup>とう</sup>さん

祖父<sup>そふ</sup> → おじいさん

母<sup>はは</sup> → お母<sup>かあ</sup>さん

祖母<sup>そぼ</sup> → おばあさん

兄<sup>あに</sup> → お兄<sup>にい</sup>さん

おじ → おじさん

姉<sup>あね</sup> → お姉<sup>ねえ</sup>さん

おば → おばさん

弟<sup>おとうと</sup> → 弟<sup>おとうと</sup>さん

息子<sup>むすこ</sup> → 坊<sup>ぼ</sup>っちゃん（息子<sup>むすこ</sup>さん）

妹<sup>いもうと</sup> → 妹<sup>いもうと</sup>さん

娘<sup>むすめ</sup> → おじょうさん

④ 「お～になる」

れい：かえります→ 林先生<sup>はやし せん せい</sup>が おかえりに なります。

1. 書<sup>か</sup>きます→
2. 読<sup>よ</sup>みます→
3. はなします→
4. かんがえます→
5. たずねます→

⑤ 「～れる／られる」

れい：きます→ 林先生<sup>はやし せん せい</sup>が こられます。

ある 歩<sup>ある</sup>きます→ 林先生<sup>はやし せん せい</sup>が ある 歩<sup>ある</sup>かれます。

1. 書<sup>か</sup>きます→
2. 読<sup>よ</sup>みます→
3. はなします→
4. かります→
5. たずねます→

⑥ きまった いいかた

れい：します→ 林先生<sup>はやし せん せい</sup>が なさいます。

1. います→
2. いきます→
3. きます→
4. たべます→

⑦ 「お～する」

れい：もちます→わたしが おもちします。

1. 書きます→
2. 読みます→
3. はなします→
4. かります→
5. たずねます→

⑧ きまった いいかた

れい：います→わたしが おります。

1. もらいます→
2. たべます→
3. します→

⑨ かぞくの よびかた

れい：「お父<sup>とう</sup>さんは お元<sup>げん</sup>気<sup>き</sup>ですか？」「はい、父<sup>ちち</sup>は 元<sup>げん</sup>気<sup>き</sup>です。」

1. お母<sup>かあ</sup>さん→「はい、
2. お兄<sup>にい</sup>さん→「はい、
3. おばあさん→「はい、
4. お姉<sup>ねえ</sup>さん→「はい、
5. 弟<sup>おとうと</sup>さん→「はい、
6. おじいさん→「はい、
7. 妹<sup>いもうと</sup>さん→「はい、
8. おじさん→「はい、
9. お嬢<sup>じょう</sup>さん→「はい、



⑩ 「お～になる」と「きまった いいかた」

れい：「この 論文<sup>ろんぶん</sup>は、だれが 書<sup>か</sup>きましたか？」

→ 「林先生<sup>はやしせんせい</sup>が お書<sup>か</sup>きに なりました。」

1. 「この 車<sup>くるま</sup>には、だれが のりますか？」

「林先生<sup>はやしせんせい</sup>が、\_\_\_\_\_。」

2. 「あした、京都<sup>きょうと</sup>へ だれが 行きますか？」

「小川先生<sup>おがわせんせい</sup>が、\_\_\_\_\_。」

3. 「この ケーキは、だれが たべますか？」

「山田<sup>やまだ</sup>さんの お母<sup>かあ</sup>さんが、\_\_\_\_\_。」

4. 「あの 茶<sup>ちや</sup>わんは、だれが 買<sup>か</sup>いましたか？」

「田中<sup>たなか</sup>さんが、\_\_\_\_\_。」

5. 「奈良<sup>なら</sup>の 大学<sup>だいがく</sup>には、だれが いますか？」

「木村教授<sup>きむらきょうじゆ</sup>が、\_\_\_\_\_。」

⑪ 「お～する」と「きまった いいかた」

れい：「だれか、この かばんを もって ください。」

→ 「わたしが おもちします。」

1. 「だれか、あの お皿<sup>さら</sup>を とって ください。」

「わたしが、\_\_\_\_\_。」

2. 「だれが、この 本<sup>ほん</sup>を かえしますか？」

「わたしが、\_\_\_\_\_。」

3. 「あした、だれが 会社<sup>かいしゃ</sup>に いますか？」

「わたしが、\_\_\_\_\_。」

4. 「だれが、この ケーキを たべましたか？」

「わたしが、\_\_\_\_\_。」

⑫ まちがいを なおしましょう。

れい：「母<sup>はは</sup>は とうふが お好き<sup>す</sup>よ。→ 好き<sup>す</sup>」

1. 「林先生<sup>はやし せんせい</sup>は いますか。→ \_\_\_\_\_」

「林先生<sup>はやし せんせい</sup>は、図書館<sup>としよ かん</sup>へ いました。

→ \_\_\_\_\_」

すぐ、おかえりします。→ \_\_\_\_\_」

「そうですか。じゃあ、ここで おまちに なります。

→ \_\_\_\_\_」

2. 「お父さん<sup>とう さん</sup>は、元氣<sup>げん き</sup>ですか？→ \_\_\_\_\_」

「はい、お父さん<sup>とう さん</sup>は → \_\_\_\_\_ お元氣<sup>げん き</sup>で、→ \_\_\_\_\_

毎日<sup>まいにち</sup> 会社<sup>かいしゃ</sup>へ いらっしゃいます。→ \_\_\_\_\_」

3. 「お母さん<sup>かあ さん</sup>は、どこに いますか？→ \_\_\_\_\_」

「お母さん<sup>かあ さん</sup>は → \_\_\_\_\_

東京<sup>とうきょう</sup>に いらっしゃいます。→ \_\_\_\_\_」

4. 「先生<sup>せんせい</sup>は、夏休<sup>なつやす</sup>みに どこへ いましたか？→ \_\_\_\_\_」

「わたしは、奈良<sup>なら</sup>へ いらっしゃいました。→ \_\_\_\_\_」

「奈良<sup>なら</sup>で、何<sup>なに</sup>を しましたか？→ \_\_\_\_\_」

「お寺<sup>てら</sup>の しゃしんを、たくさん おとりしました。

→ \_\_\_\_\_」

5. 「冷たい お茶<sup>ちや</sup>を いただけませんか？」

「はい、すぐ おもちになります。→ \_\_\_\_\_」

6. 「お母さん<sup>かあ さん</sup>、何<sup>なに</sup>を いただきますか。→ \_\_\_\_\_」

「ゆどうふを めしあがります。→ \_\_\_\_\_」

「ゆどうふが 好き<sup>す</sup>なんですか。→ \_\_\_\_\_」

「ええ、お好き<sup>す</sup>ですよ。→ \_\_\_\_\_」

7. 「この 茶わん<sup>ちやわん</sup>を みせてください。」

「はい。どうぞみてください。→ \_\_\_\_\_」

13 会話の練習を しましょう。

1. つぎの 地図を みて、みちを きいたり、おしえたり しましょう。

A. 「ちょっと うかがいますが、～へは、

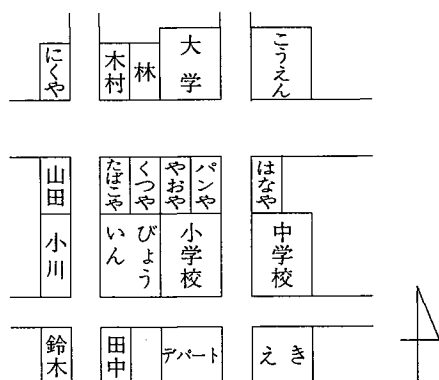
どういったら いいのでしょうか。」

B. 「～でしたら、〔右、左〕にまがって、

〔まっすぐいく、道をわたる、東・西・南・北にいく〕と、すぐ

〔右、左、前〕に あります。」

A. 「そうですか。どうも ありがとう ございました。」



2. かいものを しましょう。

A. 「すみません。」

B. 「いらっしゃいませ。」

A. 「～を みせてください。」

B. 「かしこまりました。……おまたせしました。どうぞ ごらんください。」

A. 「これは おいくらですか？」

B. 「～円です。」

A. 「これと、これを つつんで ください。」

B. 「はい。……～円いただきます。」

A. 「はい。」(おかねを わたす。)

B. 「ありがとう ございました。」

3. おきやくに なって、ともだちの うちへ いきましょう。

A. 「こんにちは。(ごめんください。)」

B. 「いらっしゃいませ。」

A. 「ごぶさたしております。」

B. 「よく いらっしゃいました。おつかれじゃ ありませんか？」

A. 「いいえ。」

B. 「どうぞ こちらへ……。ごゆっくり。〔コーヒー／ケーキ〕と

〔こうちゃ／クッキー〕と、どちらを めしあがりますか？」

⇒ 何<sup>なに</sup>になさいますか／何<sup>なに</sup>がお好き<sup>す</sup>ですか／何<sup>なに</sup>にいたしましょうか

A. 「～を いただきます。」

B. 「……お待<sup>ま</sup>たせしました。……さあ、どうぞ。」

A. 「いただきます。(……おいしいですね。)」

B. 「〔お父<sup>とう</sup>さん、お母<sup>かあ</sup>さん……〕は、お元<sup>げん</sup>氣<sup>き</sup>ですか？」

A. 「〔父<sup>ちち</sup>、母<sup>はは</sup>……〕は……」

↓

B. 「〔～日<sup>にち</sup>に、こんどの～よう日<sup>び</sup>に〕～と、～へ行<sup>い</sup>くんですが、

よかったら、いっしょに いらっしゃいませんか？」

A. 「〔ええ、いかせて いただきます／その日<sup>ひ</sup>は ちょっと……〕」

B. 「〔じゃ、～時<sup>じ</sup>に ～で ……／ああ、そうですか……。〕」

↓

A. 「ああ、もう こんな 時間<sup>じかん</sup>ですね。じゃ、そろそろ しつれいします。」

B. 「そうですか。また いらっしゃって ください。」

A. 「(ごちそうさまでした。楽<sup>たの</sup>しかったです。) ありがとう ございました。

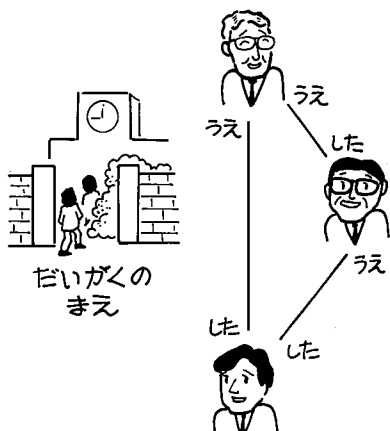
さようなら。」

B. 「さようなら。」

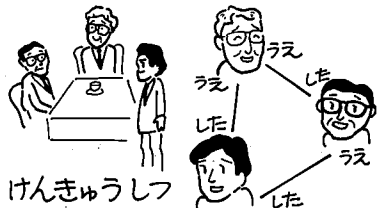


# せんせいを おたずねします

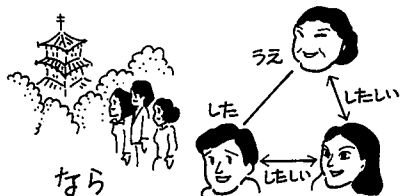
それぞれ だれの セリふでしようか。



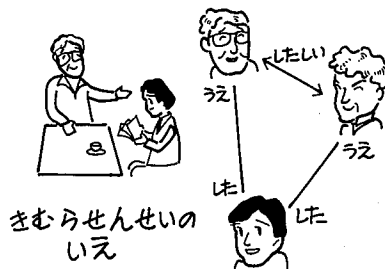
- [ ] 「きょうの ごご、きむらせんせいが  になりますよ」
- [ ] 「もし よろしかったら、ごしょうかい  ませんか」
- [ ] 「いい きかいだから、しょうかいしましょう」
- [ ] 「ありがとうございます。きむらせんせいに ごいけんを  たい ことが あるんですが」
- [ ] 「そうですね。それでは 2じごろ、わたしの けんきゅうしつに  ください」
- [ ] 「はい、うかがいます」



- [ ] 「きむらせんせい、ごしょうかいします。こちらが こうしの おがわくんです」
- [ ] 「おがわと  ます。よろしく おねがいいたします」
- [ ] 「きむらです」



- [ ] 「おかあさん、つぎは どこを  になりますか」
- [ ] 「ははは、とうしょうだいじを みたいと いて いたわ」



- [ ] 「なにも  ませんが、どうぞ ぐゅぐゅ」
- [ ] 「いただきます」
- [ ] 「もし、よかったら、いまから そこへ いて みませんか」
- [ ] 「よろしいんですか。ぜひ、ごいっしょ  ください」
- [ ] 「ちょっと いて くるよ」
- [ ] 「はい」

① そんなけいの いいかた (きまった かたち)

れい: 「いる」「いく」「くる」→「いらっしゃる」

1. 「いく」「くる」→
2. 「たべる」→
3. 「いう」→
4. 「みる」→
5. 「する」→
6. 「くれる」→

② けんじょうの いいかた (きまった かたち)

れい: 「もらう」→「いただく」

1. 「いく」「くる」→
2. 「たべる」→
3. 「いう」→
4. 「たずねる」→
5. 「みる」→
6. 「する」→

③ そんなけいの いいかた「お～になる」、けんじょうのいいかた「お～する」

れい: もつ→ おもちになる、おもちする

1. よぶ
2. みせる
3. わたす

④ 「ご」を つけなさい。

れい: いけん→ ごいけん

1. しょうかい
2. つごう
3. けんきゅう

⑤ 次の ことばを、そんけいの 言いかたに しなさい。

A 調べます→ 木村先生が お調べに になります。／調べられます。

1. 話します → \_\_\_\_\_。
2. 作ります → \_\_\_\_\_。
3. 待ちます → \_\_\_\_\_。
4. 買います → \_\_\_\_\_。
5. 帰ります → \_\_\_\_\_。
6. よろこびます → \_\_\_\_\_。
7. 教えます → \_\_\_\_\_。
8. 休みます → \_\_\_\_\_。

B 紹介する→ 木村先生が 紹介なさいます。

1. 見ます → \_\_\_\_\_。
2. 行きます → \_\_\_\_\_。
3. 言います → \_\_\_\_\_。
4. 食べます → \_\_\_\_\_。
5. 研究します → \_\_\_\_\_。
6. います → \_\_\_\_\_。
7. 来ます → \_\_\_\_\_。
8. テニスをします → \_\_\_\_\_。



⑥ 次のことばを けんじょうの 言い方に 下さい。

A 調べます→ わたしが お調べします。／いたします。

1. 持ちます → \_\_\_\_\_。
2. はこびます → \_\_\_\_\_。
3. はらいます → \_\_\_\_\_。
4. さがします → \_\_\_\_\_。
5. たのみます → \_\_\_\_\_。
6. ことわります → \_\_\_\_\_。
7. かえります → \_\_\_\_\_。
8. 開けます → \_\_\_\_\_。
9. よびます → \_\_\_\_\_。

B きく→ うかがいます。

1. 本を 見ます → \_\_\_\_\_。
2. 3時に 来ます → \_\_\_\_\_。
3. 意見を ききます → \_\_\_\_\_。
4. 小川と いいます → \_\_\_\_\_。
5. おすしを 食べます → \_\_\_\_\_。
6. 先生の お宅へ 電話します → \_\_\_\_\_。
7. 先生の お宅へ 行きます → \_\_\_\_\_。
8. 小川くんを しょうかいします → \_\_\_\_\_。

⑦ \_\_\_\_\_ に、けいごを 入れなさい。

1. 社長：<sup>しや ちやう</sup> 今週の 土曜日<sup>どようび</sup>も、会社へ 来ますか。  
 課長：<sup>か ちやう</sup> はい、土曜日<sup>どようび</sup>も \_\_\_\_\_。

2. 田中きょうじゅ：<sup>たなか きやうじゅ</sup> 山田<sup>やまだ</sup>きょうじゅは、もう、この 手紙<sup>てがみ</sup>を 読み  
 ましたか。  
 学生：<sup>がく せい</sup> はい、もう、\_\_\_\_\_。

3. 学生：<sup>がく せい</sup> すみません。この もんだいを 教<sup>おし</sup>えて ください。  
 すずき先生：<sup>すずき せんせい</sup> わたしは 時間<sup>じかん</sup>が ないので、たかはし先生<sup>せんせい</sup>に  
 聞<sup>き</sup>いて ください。  
 学生：<sup>がく せい</sup> わかりました。たかはし先生<sup>せんせい</sup>に \_\_\_\_\_。

4. よしださん： もしもし、よしだですが、ごしゅじん、いら  
 っしゃいますか。  
 川井<sup>かわい</sup>さんの おくさん： すみません。今<sup>いま</sup>、\_\_\_\_\_。  
 よしださん： そうですか。 あしたは、いらっしゃいますか。  
 川井<sup>かわい</sup>さんの おくさん： はい。 あしたは、\_\_\_\_\_。

5. 先生：<sup>せんせい</sup> ああ、あの かわらの 写真<sup>しゃしん</sup>を もう 見たんで  
 すか。  
 学生：<sup>がく せい</sup> ええ。先生<sup>せんせい</sup>も もう \_\_\_\_\_ ですね。

6. きょうじゅ： 今日は、わたしが ごちそうします。どうぞ、好きなものを  
ちゅうもんして ください。

学 生： ありがとうございます。

わたしは、ステーキを \_\_\_\_\_。

きょうじゅは 何を \_\_\_\_\_。

きょうじゅ： わたしも、ステーキを 食べます。

7. きょうじゅ： ならじだいの かわらの 写真を、見ても いいですよ。

学 生： ありがとうございます。では すぐ \_\_\_\_\_。

8. 学 生： 先生は おひまなとき 何を \_\_\_\_\_。

先 生： そうですね。やきゅうを しています。あなたは？

学 生： わたしは ジョギングを \_\_\_\_\_。

9. たなかさん： おひさしぶりですね。

やまださん： ええ。しゃちょうが あなたに よろしくと \_\_\_\_\_。

たなかさん： ああ、そうですか。らいしゅう 会社へ \_\_\_\_\_ と  
おつたえ ください。

10. すずきさん： 年をとったので、新聞が 読みにくくなりました。

すみませんが、読んで くださいませんか。

よしださん： ええ、いいですよ。\_\_\_\_\_。

⑧ れいのように <sup>か</sup>書きなさい。

れい：写真<sup>しゃしん</sup>を 見る<sup>み</sup> → もし よかったら、写真<sup>しゃしん</sup>を 見<sup>み</sup>させて いただけませんか。

1. 3時<sup>じ</sup>に 帰<sup>かえ</sup>る → \_\_\_\_\_。

2. まどを 開<sup>あ</sup>ける → \_\_\_\_\_。

3. 社<sup>しゃ</sup>長<sup>ちやう</sup>に 会<sup>あ</sup>う → \_\_\_\_\_。

4. 英<sup>えい</sup>語<sup>ご</sup>で 話<sup>は</sup>す → \_\_\_\_\_。

5. いっしょに 奈良<sup>なら</sup>へ 行<sup>い</sup>く → \_\_\_\_\_。

6. きょうじゅの レポ-トを 読<sup>よ</sup>む → \_\_\_\_\_。

7. この レストランの おかんじょうを はらう → \_\_\_\_\_。

8. 来<sup>らい</sup>週<sup>しゅう</sup>の 月曜<sup>げつよう</sup>日<sup>び</sup>、休<sup>やす</sup>む → \_\_\_\_\_。

9. かわらについて しつもんする → \_\_\_\_\_。

10. いけんを いう → \_\_\_\_\_。

動詞の れんしゅう

つぎ 次の \_\_\_\_\_ に 「読む」 を 適切な 形に かえて 書きなさい。

1. わたしは 毎日 新聞を \_\_\_\_\_ ます。
2. 図書館へ 新聞を \_\_\_\_\_ に 行きました。
3. 父は 今 となりの へやで 本を \_\_\_\_\_ います。
4. つぎの 文を \_\_\_\_\_ 、あとの しつものに こたえなさい。
5. もう この本は \_\_\_\_\_ しまいました。
6. あした しけんが ありますから、もう一度 この本を \_\_\_\_\_ おき  
ましょう。
7. この レポートは まだ \_\_\_\_\_ ありません。
8. いつも どんな 本を \_\_\_\_\_ のですか。
9. この 本は おもしろいですよ。 あなたも \_\_\_\_\_ ませんか。
10. すみません。この 日本語の 手紙を \_\_\_\_\_ ください。
11. あなたが けさ \_\_\_\_\_ 新聞は どれですか。
12. 前に この 本を \_\_\_\_\_ ことが あります。
13. 時々、朝から ばんまで 一日中 本を \_\_\_\_\_ ことが あります。
14. この 本は、しゅくだいが おわってから \_\_\_\_\_ ことに します。
15. 日曜日は、テレビを 見たり 本を \_\_\_\_\_ りします。
16. 漢字は、五十ぐらい \_\_\_\_\_ ことができます。
17. わたしは、ひらがなは ぜんぶ \_\_\_\_\_ ますが、カタカナは \_\_\_\_\_

ません。

18. ひらがなで 書いてある本は \_\_\_\_\_ にくいです。
19. 本を \_\_\_\_\_ すぎて 目が 悪くなりました。
20. おもしろいかどうか、一度 \_\_\_\_\_ みてください。
21. 夏休みは、ゆっくり 好きな本が \_\_\_\_\_ たいです。
22. 山田さんも あの 本を \_\_\_\_\_ たがっています。
23. 夏休みは、本を 五さつぐらい \_\_\_\_\_ つもりです。
24. これから 新聞を \_\_\_\_\_ ところです。
25. 休みの 日には 英語の 小説を \_\_\_\_\_ と 読んで います。
26. たった 今 新聞を \_\_\_\_\_ ところです。
27. その 新聞は \_\_\_\_\_ ばかりです。
28. 今から この 手紙を \_\_\_\_\_ から、ちょっと 待って ください。
29. 何度も 何度も 本を \_\_\_\_\_ ので、文を ぜんぶ おぼえて しまいました。
30. あなたの 手紙を \_\_\_\_\_ 、びっくりしました。
31. 友だちの 話によると あの人は 毎週 英語の 本を 三さつも \_\_\_\_\_ そうです。
32. これは \_\_\_\_\_ も \_\_\_\_\_ なくても いいです。
33. テストの ときは、もんだいを 何度も \_\_\_\_\_ なければ なりません。
34. この 手紙は たいせつですから、今すぐ \_\_\_\_\_ ほうが いいですよ。

35. 新聞を \_\_\_\_\_ 前に、しゅくだいを して しまいなさい。
36. 日本語の 本を \_\_\_\_\_ と、いつも 頭が いたくなります。
37. この 本を \_\_\_\_\_ ば、日本の ことが よく わかります。
38. その 本を \_\_\_\_\_ だら、わたしに かけて ください。
39. コンピューターの 本を \_\_\_\_\_ なら、この 本が わかりやすく  
いいですよ。
40. この 本は むずかしくて 何度 \_\_\_\_\_ でも、わかりません。
41. さっき \_\_\_\_\_ のに、もう わすれて しまいました。
42. わたしは 母に につきを \_\_\_\_\_ ました。
43. この 小説は 世界じゅうの 人に \_\_\_\_\_ ています。
44. 林さんは 本も たくさん \_\_\_\_\_ し、運動も よくするし、ほんとう  
に いい 学生です。
45. わたしは 兄に ドイツ語の 手紙を \_\_\_\_\_ もらいました。
46. 先生が わたしたちに おもしろい 新聞の 話を \_\_\_\_\_ ください  
ました。
47. わたしは 妹に 絵本を \_\_\_\_\_ やりました。
48. 先生は 学生に 本を \_\_\_\_\_ ました。
49. 学生は 先生に 何度も 何度も 本を \_\_\_\_\_ ました。
50. 先生は いつも どんな 本を お \_\_\_\_\_ に なりますか。
51. 先生が 学生の とき \_\_\_\_\_ 本は どんな 本ですか。

## 『日本語教育映画 基礎編』 作成関係者

(指導・助言) 日本語教育映画等企画協議会委員 (所属は在任当時のもの)

池 尾 ス ミ (米加十一大学連合日本研究センター)

石 田 敏 子 (国際基督教大学)

今 田 滋 子 (国際基督教大学)

木 村 宗 男 (日本語教育学会)

工 藤 浩 (国立国語研究所)

窪 田 富 男 (東京外国語大学)

斎 藤 修 一 (慶應義塾大学国際センター)

佐久間 勝彦 (東京外国語大学)

杉 戸 清 樹 (国立国語研究所)

(企画) 国立国語研究所日本語教育センター関係者 (在任当時関係者も含む)

野元菊雄 南 不二男 川瀬生郎 日向茂男 田中 望

清田 潤 中道真木男 林 大 武田 祈 水谷 修

(制作) 日本シネセル株式会社

この『練習帳』の企画・校閲・編集は国立国語研究所日本語教育センター日本語教育指導普及部教材開発室の日向茂男、清田潤が担当した。全巻に渡っての企画・校閲には中野泰子(アジア学生文化協会留学生日本語コース)、野村美知子(アジア学生文化協会留学生日本語コース)の両氏に多大な協力を得た。また印道緑、清地恵美子、戸川さやかの各氏に企画時の補助をお願いした。

このユニット6の原案執筆・検討には中野泰子、杉山太郎、伊勢田涼子、斎藤百合子、丸山敬介の各氏に助力を仰いだ。

### 『日本語教育映画 基礎編』 練習帳

1984年 11月 15日 発 行

定価 500円

企画・編集 国立国語研究所

〒115 東京都北区西が丘3-9-14 電話(03)900-3111

発 行 日本シネセル株式会社

〒107 東京都港区赤坂1-9-15 電話(03)582-2691~4

発 売 株式会社 ビスコ

〒115 東京都港区赤坂2-13-19 多聞堂ビル 電話(03)582-8467~9